

中間セレモニー、家康楽市春の陣

◎開催日／平成27年4月25日、26日(中間セレモニーは25日のみ) ◎会場／浜松城公園



開会宣言、鏡開き

家康公が天下泰平の世を創り上げるための礎を築いた場所・浜松において、17年間居城した浜松城を会場に、徳川家康公顕彰四百年記念事業「中間セレモニー」を開催。家康公四百年祭を推進する関係者が集まり、この事業を盛り上げ広くアピールするとともに、事業に係る関係者の交流と連携を深めた。

また、浜松時代の若き徳川家康公をテーマに、官民一体となり創り上げる、市民参加型の舞台や演武披露などにより、浜松時代の若き家康公「真実の武勇伝」に触れ、家康公が命をかけて守った「出世の街浜松」の魅力と浜松部会が取り組む「浜松時代の若き徳川家康公の見える化」を楽しんだ。



遠州出世太鼓



甲冑隊による演出



パフォーマンスアート

シンポジウム「徳川家と武田家」

◎開催日／平成27年7月1日 ◎会場／アクトシティ浜松大ホール



シンポジウムの様子

浜松市の合併10周年と市制施行104周年の記念式典に合わせ、シンポジウム「徳川家と武田家～三方ヶ原の戦いから赤備えへ～」を開催。徳川宗家18代当主の徳川恒孝さんと武田家第16世当主の武田邦信さんを迎え、「三方ヶ原の戦い」をテーマに意見を交わした。

コーディネーターは、静岡文化芸術大学の磯田道史教授が務め、現代版の三方ヶ原を再現した。



徳川恒孝氏



武田邦信氏

第63回浜松七夕まつり

◎開催期間／平成27年8月7日～9日 ◎会場／浜松市中心商店街

8月7日～9日に第63回浜松七夕まつりを実施。この3日間は、浜松駅付近における中心市街地が七夕飾り等で彩られた。8日には、家康公四百年祭を記念して、七夕で彩られた街中を歩くウォーキングイベント「徳川家康公顕彰400年記念事業 光と音で楽しむ家康公出世歴史探訪やらまいか七夕ウォーキン

グ」を実施し、200人が参加した。当日は、スタートの遠州鉄道の新浜松駅付近のソラモからゴールの浜松城までの各スポットで、徳川家康公を題材とした寸劇や太鼓などを実施した。



家康公を題材にした寸劇



太鼓演奏と浜松城

甦る!若き日の家康公展

◎開催期間/平成27年7月27日～10月25日 ◎会場/浜松城

浜松部会で制作した「徳川家康公3D肖像」「三方ヶ原の戦いジオラマ」「徳川家康公立体しかみ像」を浜松城へ一堂に集めた展示会を開催。“若き家康公を形作る”という難題に挑戦するため、事業を監修する静岡文化芸術大学の磯田道史教授の最新の研究成果と、各界のトップクリエイター渾身の技術を結集した3作品を展示。大御所時代の“ためきおやじ”のイメージとは一線を画する家康公の作品群は、見る人に驚きを与え、深い興味・関心へと導いた。現在、「3D肖像」は浜松城、「三方ヶ原の戦いジオラマ」は犀ヶ崖資料館、「立体しかみ像」は浜松市博物館で展示されている。



徳川家康公
立体しかみ像



徳川家康公3D肖像



三方ヶ原の戦いジオラマ



開催記念式典の様子

出世の街浜松家康公祭り、家康楽市秋の陣

◎開催日/平成27年10月24日、25日 ◎会場/浜松城公園



出演者による勝陣

会場となった浜松城公園では、数々のステージイベントや徳川家康公や井伊直虎を描いた演劇が上演されたほか、地元の食材を使った“パワーフード”や工芸品などの多様なブースが出店し、多くの来場者で賑わった。

25日には、浜松部会のイメージキャラクター、「ももいろクローバーZ」の百田夏菜子さん(浜松市出身)が甲冑姿で登場。武者行列や出世大名家康くんとトークショーなどに参加し、イベントを大いに盛り上げた。



武者行列の様子



百田夏菜子さんトークショー



演劇「浜松城 家康公の愛」

ゆるキャラ®グランプリ2015 in 出世の街 浜松

◎開催期間/平成27年11月21日~23日 ◎会場/渚園



浜松市長から表彰状を受け取る家康くん

全国から約300体のゆるキャラ®が集まり、来場者はゆるキャラ®たちとの写真撮影やふれあいを楽しんだ。ご当地の特産品やゆるキャラ®グッズの販売のほか、ご当地グルメを味わえる飲食コーナーも充実し、「音楽の都 浜松」ならではのおもてなしとして多彩な音楽イベントを展開した。

最終日には「ゆるキャラ®グランプリ」の表彰式が行われ、浜松市のマスコットキャラクター「出世大名 家康くん」が念願のグランプリを獲得した。



上位3キャラクター



出店の様子



ブースでのパフォーマンス

二公像(家康公・秀吉公)お披露目式

◎開催日/平成27年12月16日 ◎会場/浜松元城町東照宮(引間城跡)

徳川家康公と豊臣秀吉公の二人の天下人が訪れた引間城跡(浜松元城町東照宮)をパワースポットとして整備するため、ブロンズ像を設置した。

当時、松下家に仕えていた少年期の秀吉公は引間城を訪れ、皆の前で猿まねをし、城主の家族を笑わせたとの逸話が伝わる。また、家康公は浜松城を築城している間、引間城を居城としていた。

元亀三年(1572年)、武田信玄との三方ヶ原の戦いに、家康公は「浜松から撤退するくらいなら武士をやめる」という強い覚悟で臨んだが、引間城の北口にあたる「玄黙(元目)口」へ撤退したとされている。当時、引間城は重要な拠点だった。



お披露目式の様子



三方ヶ原の戦いに向かう家康公



猿の物まねをする少年秀吉公



徳川家康公

豊臣秀吉公

軽トラはままつ出世市

◎開催日／平成27年2月22日 ◎会場／鍛冶町通り

浜松市中心市街地の賑わいづくりと6次産業化の促進による産業活性化を目的として鍛冶町通りにおいて、軽トラックを利用した「市」を実施。鍛冶町通りの約350mの間に軽トラック50台が並び、JAとびあ浜松に出荷している浜松市内の農家らが旬の野菜や果物などを販売した。

徳川家康公没後四百年目にあたり、家康公の愛した地元食材の魅力を再考する場としての位置づけも含め開催した。来場者は約1万5000人を数え、新鮮な食材を買い求めた。また、プロの大道芸人らによるアトラクションも行われ、会場を盛り上げた。



買い物を楽しむ来場者(鍛冶町通り)



大道芸人によるアトラクション



オープニングセレモニーの様子

第2回軽トラはままつ出世市

◎開催日／平成27年12月13日 ◎会場／鍛冶町通り・モール街ほか



浜松の旬の野菜や果物を販売(鍛冶町通り)



買い物客で賑わうモール街



やらまいかショップ

鍛冶町通りにモール街を加え、軽トラックほか67台が出店した。商店街と連携して歩行者天国となるエリアを肴町・有楽街の一部まで拡大し、肴町ではストリートカフェ、有楽街では出世屋台市を開催。

当日は、JAとびあ浜松に出荷している浜松市内の農家らが旬の野菜や果物などを販売。1回目同様、家康公の愛した地元食材の魅力を再考する場としての位置づけも含め開催。新鮮な食材を買い求め、約2万5000人の来場者があった。

また、大道芸によるパフォーマンス、和太鼓演奏、子どもチームによるダンス、幼稚園児による合唱・手話等のアトラクションも行い、会場を盛り上げた。

浜松部会グランドフィナーレ

◎開催日／平成27年12月24日 ◎会場／浜松市福祉交流センター



浜松部会振り返りの様子

徳川家康公顕彰四百年記念事業エンディングセレモニーに先立ち、浜松部会の2年間の取り組みを振り返った。また、浜松部会事業の最後を飾るため、天下取りの力を蓄えた浜松時代の家康公や2017年大河ドラマの主人公である「井伊直虎」と家康公の関わりについて、徳川宗家18代当主の徳川恒孝さん、静岡大学名誉教授の小和田哲男さんが講演した。



記念講演を行う徳川恒孝氏



家康公と井伊直虎について説明する小和田哲男氏